

委員事前質問と回答

第2次府中市環境基本計画 環境行動指針の進捗状況（資料3）		
番号	コメント	事務局コメント
2	次に計画されている具体的な親水路はありますか？	現在のところ、新たな計画はありません。
4	農地保全協定の他に、農地拡大のための仕組みの検討状況はいかがでしょう？	農地保全を目標としており、拡大のための事業は実施していません。
5	四谷さくら公園のしゅん工の結果、どのような防災機能が強化されましたか？	一時避難場所として、オープンスペースを確保しました。また、災害時に利用できるかまどベンチを2基設置しました。
7	観察会や学習会などに参加された方々のその後の活動状況を教えてください。	参加された方々のその後の活動状況を個別に把握することは難しいため、把握しておりませんが、継続して観察会や学習会などに参加される方もいらっしゃいます。
9	環境基準は達成されていますか？	詳細は毎年発行しております府中の環境にまとめておりますが、主に大腸菌群数について環境基準を超過する場合があります。
13	確認ですが、開発事業は無く、補植等の実績も無かった、との理解でよろしいでしょうか？	一般的な開発事業がありましたが、既存緑地の保全の協力を求めるような開発事業はありませんでした。
14	登録団体を増やす取り組みの検討状況を教えてください。	周知を徹底しており、昨年度より開始したクリーンアッププロジェクトに参加いただいた市民・団体に対し、本制度についても案内しています。
17	事業者の意向で協定を締結しないことで、問題はありますか？	特段問題ははありません。
18	どのような施設を実施対象としているのでしょうか？	原則として、施設の新築時や改築時に太陽光発電設備の設置を検討しています。令和4年度は、新築の工事があったものの、年度内に工事が完了せず、太陽光発電設備の設置がなかったものです。
20	カーボンオフセットのための費用はかかっているのでしょうか？また、CO2削減量（吸収量）はどれくらいですか？	令和4年度は、佐久穂町森林整備費として350万円を負担しています。なお、面積としては、佐久穂町 町有林 19.03ha、CO2 吸収は単年度の認証で13.2 t-CO2/年、複数年認証を含むと 416.8 t-CO2/年となっております。
21	環境整備の指標ですが、何を指標としているのでしょうか？	放置自転車の撤去、自転車利用のマナーアップキャンペーン等を当初の予定通りに実行したことから達成率100%となっております。
22	広報誌を読まない、広報TVを見ない、イベントに参加しないなど、興味を持っていない人へのアプローチを検討していますか？	地域におけるごみ対策や3R推進のリーダーとして自治会等からご選出いただいている地域ごみ対策推進員の方々に、快適で住みよいまちづくりに貢献する役割を担っていただき、地域コミュニティからのアプローチも図っています。
23	マイバッグ持参率は目標を達成しているのですが、今後は目標の引き上げを検討していただきたい。	レジ袋の有料化に伴い、マイバッグ持参率が向上している状況です。なお、第3次府中市環境基本計画においては、マイバッグ持参率を指標としておりません。
24	堆肥化の事業終了後の継続、実用化の現状を教えてください。	事業計画段階では、成分が均一でなかったり塩分濃度が高いなど、たい肥としての利用は難しい結果となりました。大規模な拠点回収を行うには課題が多くありますが、各家庭で個人レベルでの生ごみの資源化を推進していく必要があることから、ごみ減量化処理機器の購入費補助を行い、個人での生ごみ処理機購入などを推進しています。
25	ペットボトル回収機設置の協定解除の影響はありますか？	資源循環推進課に確認したところ、ペットボトル回収機は協定の解除後2店舗を除き引き続き店頭設置を行っており、大きな影響は見られないとのことでした。
26	水辺の楽校イベントの受け入れ体制の強化策を検討していますか？	受け入れ体制が伴わなかった原因として、河川環境変化による活動場所の変更や、スタッフの高齢化等に伴う受け入れ可能人数の減少などがあります。活動場所や担い手の確保など、難しい問題であると認識しておりますが、対応策につきましては、引き続き検討してまいります。

27	防災研修会の参加者のその後の活動状況を教えていただきたい。	防災出前講座として、防災意識の向上を図っています。参加いただいた方に、家庭内での備蓄や家具の転倒防止、防災訓練の参加等の取組につなげていただくような内容となっています。
28	市史刊行物を読んでもらうための取り組み状況を教えてください。	市史刊行物については、近隣市との協働による、東京都市多摩郷土史フェアにおいて、市史等の販売を行うなどの取組を行っています。
30	田んぼの学校を継続するための取り組みの検討状況を教えてください。	田んぼの学校は東京農工大学の本町農場で実施していましたが、農工大の意向で農場をお借りするのが困難な状況になっています。
31	自然環境への関心は向上していますか？	市民団体等による動植物の生息・生育調査が継続的に実施されていることや、生物多様性を知っている市民の割合が向上していること（資料4参照）から、市民の自然環境に対する関心は向上していると捉えております。
33	塾に参加したリーダーのその後の活動状況を教えてください。	環境塾に参加いただいた方がその後、市内の環境団体等に入室することもあります。環境塾では、環境学習のリーダー育成を目的として開催していますが、現在の内容は基礎講座的な内容が多くなっています。
35	事業に参加したリーダーのその後の活動状況を教えてください。	事業に参加された方々のその後の活動状況を個別に把握することは難しいため、把握しておりません。
36	ホームページをリニューアルし、どのように活用することで、期待する効果の目標を教えてください。	現在のホームページの内容から、より多様な世代が見て知っていただき、各種事業に参加いただけるような内容や環境に関する情報発信の強化を行う為のリニューアルを行っていく予定です。現在の環境保全活動センターの課題でもある参加者の固定化に対する1つの打ち手と考えています。
38	校庭の芝生化による自然環境への理解度はどの程度向上したか教えてください。	校庭の芝生化は児童、生徒が自然と触れ合う機会を増やすことや、粉塵、ヒートアイランドの抑制を図ることを目的としております。直接的に自然環境への理解度向上につながるものではありませんが、普段から芝生環境があることによって間接的に自然環境への興味関心につながることもあろうかと考えております。
39	環境教育・学習として、どのような内容の教育を行っているのか、具体的な内容を教えてください。	太陽光発電システムについては、学校に発電量を表示するモニター設置しており、普段から児童、生徒の目に留まるようになっておりますので、児童、生徒の環境意識向上につながるものと考えております。
41	雨水施設の設置により、生徒たちの省資源意識は理解がどの程度深まったか教えてください。	雨水利用施設については、施設における雨水利用による省資源化を目的としていますので、直接的に生徒の省資源化意識の向上につながるものではありませんが、生徒たちの省資源化意識の気づきになるよう、雨水についてはトイレの中水に利用していることを表示しております。

第2次府中環境基本計画個別目標取組（資料4）		事務局コメント
全体	今回の結果から、どのような施策が必要と考えているのか教えていただきたい。	あくまでも関連指標をお示ししており、資料3にある各主管課の自己評価と照らし合わせてご確認いただくものです。

府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後進捗状況（資料5）		事務局コメント
全体	目標を達成しているのは一項目のみであり、この結果から、どのような施策が必要と考えているのか教えていただきたい。	行動変容を促していく必要があるものの、それが我慢の省エネではなく、新しい技術の導入や生活環境の向上と一体となり、環境配慮行動に変容していく施策が必要になると考えています。今年度については、太陽光発電システムや蓄電池システム、高効率給湯器を対象としたエコハウス設備設置補助金の予算額を昨年度まで2千万円であったものを、9月に補正予算を組み、総額8千万円を超える予算規模となっています。